

# 令和7年度 旭中学校 学校評価書（計画）

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分は評価結果を受けて記入する

## 1 教育目標（目指す生徒像含む）

### 《基本目標》

人間尊重の精神を基盤に、豊かな心と個性をもち、自主性・創造性を発揮して、たくましく生きる力を培い、広く世界を見つめながら、進んで社会の発展に貢献できる人間を育成する。

### 《目指す生徒像》

- ・健康でやる気のある生徒（健康な体と気力）
- ・自ら学び創造力のある生徒（自主的な学習）
- ・心豊かで思いやりのある生徒（豊かな心）

### 《生徒の指標》

「世界の旭中学校 私がそれを代表する」

1. 私たちは、心をこめてあいさつします。
2. 私たちは、時間を守り、自ら学習に励みます。
3. 私たちは、他人の気持ちを尊重し、助け合います。
4. 私たちは、進んで働きます。
5. 私たちは、社会のルールを守り、自信をもって生き抜きます。

## 2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

＜学校経営の理念＞ 「誰もが安心して学び、活力にあふれる学校」を目指し

- ・旭中学校の歴史と伝統に誇りをもち、学校と家庭・地域が支え合う。
- ・校風の継承と新しい時代にあった本校らしい教育を実践する。
- ・志と自信をもって生きることができ、地域を愛する生徒を育成する。

### ＜学校経営の方針＞

- 1 心身ともに健康で学ぶ意欲のある人間を育成するため、生徒が身に付けるべき資質や能力を明確化し、「知・徳・体」の調和がとれた教育課程を編成するとともに、秩序があり安心・安全な教育活動の実施に努める。
  - ① 確かな学力を身に付けさせるための学習指導の充実
  - ② 豊かな人間性と社会性を育てる教育の推進
  - ③ 健やかな心身を育む教育の充実
- 2 学校と家庭・地域との連携・協力を深め、積極的な情報発信と相互交流を大切にし、学校マネジメントシステムに係るPDCAサイクルを生かして、地域とともにある学校づくりを展開する。
- 3 教職員の情熱と自覚、職務への責任感、協調性を高めることにより信頼される学校づくりの推進に努めるとともに、職務環境の適正化を進め、勤務意欲の向上を図る。

## 3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

### 本校のスローガン 「心に太陽をもて！」

#### 1 確かな学力を身に付けさせるための学習指導の充実

- (1) 学力の基盤となる基本的な学習態度と学習規律を身に付けさせる指導を徹底する。
- (2) 基礎的・基本的な知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成を両立する指導を展開する。
- (3) 主体的・対話的で深い学びや学習の達成感、課題解決を重視した授業展開の工夫・改善を図る。
- (4) 総合的な学習の時間やキャリア教育を通して、自己の生き方を見つめる学習活動を充実する。
- (5) 家庭における学習習慣の確立と適切な学習支援に努め、学習内容の確実な定着を図る。
- (6) 学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、読書活動の充実を図る。

#### 2 豊かな人間性と社会性を育てる教育の推進

- (1) 教職員と生徒の好ましい信頼関係を構築し、生徒のよさを認め励ます指導と共感的な人間関係を通して、一人一人の思いやりや協調性など豊かな人間性を育成する。
- (2) 自己存在感・有用感もてる学年・学級経営を実践し、集団生活の向上に寄与する態度を育てる。
- (3) 道徳や特別活動、部活動等の充実を図り、自律的かつ自主的・自治的に学校生活に取り組む態度を育成する。
- (4) 正しい判断力と協調性を育てる指導に努め、基本的な生活習慣の確立や規範意識の向上など自己指導能力の育成を図る。
- (5) 不登校や非行など問題行動に対する迅速な対応と組織力の強化を図る。
- (6) 豊かな体験活動の充実を図るとともに いじめの防止及び早期発見 早期対応に努める。
- (7) 学校と家庭・地域との適切な連携・協力のもと、豊かな心や感性を培う体験的な活動を展開する。

#### 3 健やかな心身を育む教育の充実

- (1) 健康的な生活習慣を確立し、自ら進んで健康の増進に取り組む態度を育成する。
- (2) 心身ともにたくましく、気力があり、何事にも粘り強く取り組む態度を育成する。
- (3) 栄養バランスのよい食生活により活力ある生活を送るため、家庭との連携を図った食育を推進する。
- (4) 危険を予測し、自らの命を守り抜くための行動力を身に付けさせる。

#### 4 新たな教育課題等への対応と働き方改革の推進

- (1) 小中学校教職員の相互理解と連携・協力を深め、小中一貫教育・地域学校園の取組の充実を図り、旭地域学校園教育ビジョン「地域に愛される旭っ子の育成」の具現化を目指す。
- (2) 学校マネジメントシステムの効果的活用による教育活動の見直し・改善、校内組織の活性化
- (3) 地域の教育資源の活用、頑張る学校プロジェクトによる学校行事の充実などによる 特色ある教育活動の推進
- (4) 特別支援教育への理解と共通実践を推進し、インクルーシブ教育への適切な対応を行う。
- (5) 不登校の未然防止と個々の状況を踏まえた対応の充実を図るため、組織的な指導支援と家庭及び関係機関等との連携・協力を推進する。
- (6) 校内美化・緑化やよりよい掲示環境、ICT機器の活用、学校図書館の充実などを通して、心豊かで主体的な態度を育む教育環境の充実に努める。
- (7) 学習指導要領改訂趣やGIGAスクール構想の趣旨を踏まえ、各教科等の授業研究を深め、指導力の向上に努める。
- (8) 会議の精選、効率化等を通して校内業務の適正化を図るとともに、時間を意識した働き方を推進する。

##### 【旭地域学校園教育ビジョン】

「地域に愛される旭っ子の育成」 ～地域との豊かなかかわりを通して～

地域社会の一員としての役割や責任を自覚し、家族や友人、地域の人々への感謝の気持ちを持ち、思いやりをもって接するとともに、元気にあいさつし、ルールやマナーを守るなどの社会性と基礎学力を身に付け、進んで身の回りの人々や地域のために奉仕的に行動できるこどもの育成を図る。

#### 4 教育課程編成の方針

- ・「知・徳・体」の調和がとれた教育課程の編成
- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した授業の実施
- ・育成すべき三つの資質能力（①実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能 ②未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等 ③学んだことを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力等）を明確にした教育活動の展開
- ・各種教育と各教科等の内容を相互に関連付けた計画作成による教科横断的な教育活動の展開

#### 5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

- (1) 学校運営  
○地域との連携強化及び休日の部活動地域移行等の 新たな教育課題等への対応 による学校教育の充実と、働き方改革の推進
- (2) 学習指導  
様々な場面で言葉や技能を使いこなす力及び信頼できる知識や情報を収集し有効に活用する力の育成
- (3) 児童生徒指導  
自己指導能力及び多様な集団の中で協働し 自分のよさを見付け生かそうとする態度の育成
- (4) 健康（体力・保健・食育・安全）  
生涯にわたって心身ともに健康・安全な生活を送り、たくましく生きることができる力の育成

#### 6 自己評価 A1～A20は市共通評価指標 B1～は学校評価指標（小・中学校共通、地域学校園共通を含む）

※「主な具体的な取組の方向性」には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印は該当箇所に下線を付ける。

第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画基本施策	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
1- (1) 確かな学力を育む教育の推進	<b>A 1</b> 生徒は、他者と協力したり、必要な情報を集めたりして考えるなど、主体的に学習に取り組んでいる。  <b>【数値指標】</b> 生徒肯定的回答 85%	① 授業においてタブレット型パソコンを活用した情報の収集や他者との情報交換を通して自分の考えを深め、自らの課題を設定する力を育む。 ② 設定した学習課題の解決に向けて、学びを深める態度を育成する。		<b>【達成状況】</b>  <b>【次年度の方針】</b>

1- (2) 豊かな心を 育む教育の 推進	A 2 生徒は、思いやりの心 をもっている。  【数値指標】 生徒肯定的回答 85% 教職員肯定的回答 85%	① 授業や学校行事を通して多様な 価値観を学び、学校、学級の一員と しての自覚を高め、自分の役割を果 たす実践力を高める。 ② 道徳の授業を通し、いじめ問題に ついて考え、いじめをなくす取り組 みを自分ごととして考えさせる。	【達成状況】  【次年度の方針】
	A 3 生徒は、目標に向かっ てあきらめずに、粘り強 く取り組んでいる。  【数値指標】 生徒肯定的回答 85% 教職員肯定的回答 90% 保護者肯定的回答 85%	① 定期テスト毎に学習計画と反省 を書かせ、自分の目標と到達度を視 覚化することを通して、粘り強く取 り組む態度を育てる。 ② 生徒が前向きな目標を立てられ るように、適切な進路指導や丁寧な 教育相談を行うとともに、生徒の努 力を認め、励ます。	【達成状況】  【次年度の方針】
1- (3) 健康で安全 な生活を実現 する力を育む 教育の推進	A 4 生徒は、健康や安全に 気を付けて生活してい る。  【数値指標】 生徒肯定的回答 90%	① 定期健康診断を実施し、結果を通 知することで、自身の健康に関心を もたせる。 ② 避難訓練を実施し、自らの命を守 り抜くための行動力を身に付けさせる。	【達成状況】  【次年度の方針】
1- (4) 将来への希 望と協働す る力を育む 教育の推進	A 5 生徒は、自分のよさや 成長を実感し、協力して 生活をよりよくしようと している。  【数値指標】 生徒肯定的回答 90% 教職員肯定的回答 90%	① キャリア教育アンケートやキャ リア・パスポートを活用して自己の 基礎的・汎用的能力のうち、伸ばし たい力やそのための課題を明確に して、自身の成長を確認できるよう にする。 ② 道徳、学級活動、総合的な学習の 時間の中で、自己や自分の将来につ いて深く考えることを通して、夢や 目標を見つけ、その実現に向けて努 力する力を身に付けさせる。	【達成状況】  【次年度の方針】
2- (1) グローバル 社会に主体 的に向き合 い、郷土愛 を醸成する 教育の推進	A 6 生徒は、英語を使って コミュニケーションして いる。  【数値指標】 生徒肯定的回答 80%	① タブレットを活用し、伝えたい事 柄について情報を収集したり、表現 を調べたりし、それらを他者とのや り取りや発表に生かす態度を養う。 ② 関心のある事柄や日常的・社会的 な話題について、やり取りさせたり 、発表させたり、書かせたりする。	【達成状況】  【次年度の方針】
	A 7 児童生徒は、宇都宮の 良さを知っている。  【数値指標】 生徒肯定的回答 85%	① 地域ボランティアへの参加や総 合的な学習の時間(宇都宮学)の活 動等から宇都宮の良さを多く体験 できるように工夫する。 ② 地域で体験したことや地域につ いて学習したことを発信できるよう に工夫する。	【達成状況】  【次年度の方針】
2- (2) 情報社会と 科学技術の 進展に対応 した教育の 推進	A 8 生徒は、デジタル機器 や図書等を学習に活用し ている。  【数値指標】 生徒肯定的回答 90%	① 生徒用タブレット型ノートPC等 を積極的に用いて調べ学習を行い、 課題をまとめ、発表することで理解 を深める。 ② 年鑑や統計・専門など、様々な図 書を利用した調べ方を理解し、目的 に応じた適切な参考図書を選び、有 効に活用させる。	【達成状況】  【次年度の方針】
2- (3) 持続可能な 社会の実現 に向けた担 い手を育む 教育の推進	A 9 生徒は、「持続可能な社 会」について、関心をも っている。  【数値指標】 生徒肯定的回答 80%	① 各教科の学習や総合的な学習の 時間の中で、「持続可能な社会」につ いて学ぶ機会を活用し、自己を取り 巻く環境について考えることで、 「持続可能な社会」に対する理解を 深める。 ② 地域のボランティア活動の機会 を増やししながら、校内でもごみの分 別等を推進し、環境を大切にす	【達成状況】  【次年度の方針】

		を養う。	
3- (1) インクルーシブ教育システムの充実に向けた特別支援教育の推進	A10 教職員は、特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて、適切な支援をしている。  【数値指標】 教職員肯定的回答 90%	① 教育相談部会、特別支援部会、特別支援教育校内支援委員会において情報交換をしっかりと行うと共に、報・連・相を確実にいながら素早く対応する。	【達成状況】  【次年度の方針】
3- (2) いじめ・不登校対策の充実	A11 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。  【数値指標】 生徒肯定的回答 95% 教職員肯定的回答 100% 保護者肯定的回答 85%	① 道徳や学活を軸にし、心の教育を重視し、いじめの未然防止の取り組みの充実を図るとともに、HP や各種便り、学級懇談を通して、取り組みを保護者や地域社会に積極的に発信する。 ② 教育相談の内容や QU の結果などを十分に活用し、いじめの早期発見・早期対応、未然防止を行うとともに、保護者や生徒との信頼関係を築いていけるよう、適切な対応を心掛ける。	【達成状況】  【次年度の方針】
	A12 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。  【数値指標】 保護者肯定的回答 80% 教職員肯定的回答 90%	① 教育相談や三者面談等を有効に活用しながら、家庭との連携を密にとり、問題があれば早期対応、早期解決を目指す。 ② 心配な生徒に教職員がチームで対応することで、学校とのつながりを維持し、不登校を生まない環境作りを推進する。	【達成状況】  【次年度の方針】
3- (3) 外国人児童生徒等への適応支援の充実	A13 学校は、一人一人が大切にされ、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。  【数値指標】 生徒肯定的回答 90% 教職員肯定的回答 95% 保護者肯定的回答 95%	① 様々な立場の教職員が連携をとりながら、生徒ひとりひとりの実態に即した指導・支援計画を立て実践する。 ② 学校行事や学級活動、生徒会活動において、生徒が主体的に活動に取り組むことができる機会を充実させ、認め励まし、生徒の自己有用感を育てる。	【達成状況】  【次年度の方針】
3- (4) 多様な教育的ニーズへの対応の強化			
4- (1) 教職員の資質・能力の向上	A14 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。  【数値指標】 生徒肯定的回答 85%	① 学習課題の提示、習得・活用・探求の時間を確保し、生徒による振り返りと教師によるまとめを明確にした授業を展開する。 ② 知識・技能を活用して考えさせたり、自分の考えを表現させたりして、思考力・判断力・表現力等を育成する。	【達成状況】 ・生徒 4.7p 数値目標を上回り、達成で  【次年度の方針】
4- (2) チーム力の向上	A15 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。  【数値指標】 教職員肯定的回答 90%	① 学校経営のテーマや、スローガンを学年フロアへ掲示したり、印刷物の中に記載したりすることで、全職員がより意識を高めて、業務を進められるようにする。 ② 行事の計画を早くから検討し、共通理解を図り、全職員で同じ方向性で進められるようにする。	【達成状況】  【次年度の方針】
4- (3) 学校における働き方改革の推進	A16 勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。  【数値指標】 教職員肯定的回答 80%	① チーム学校として、SC、SSW、かがやきルーム指導員等と連携、協力して役割分担を図り、効果的な手立てを講じる。 ② リフレッシュデーを活用し、勤務時間内に業務を終わらせるよう効率的に行う意識を高める。 ③ タブレットやパソコンを利用した情報共有や生徒への問題提示等、紙印刷の手間を省くことで教員の業務縮減を行う。	【達成状況】  【次年度の方針】

<p>5- (1) 全市的な学校運営・教育活動の充実</p>	<p>A17 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】 生徒肯定的回答 80% 教職員肯定的回答 80%</p>	<p>① 地域学校園あいさつ運動の充実や行事等における小中の連携、中学生によるボランティア活動の充実を図る。</p> <p>② 各学校の課題を明らかにし、オンライン会議を活用して地域学校園各部会の取組を充実させる(学力向上部会・特色ある学校づくり推進部会・連携部会・学校園事務室)</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
<p>5- (2) 主体性と独自性を生かした学校経営の推進</p> <p>5- (3) 地域と連携・協働した学校づくりの推進</p>	<p>A18 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。</p> <p>【数値指標】 保護者肯定的回答 80%</p>	<p>① 保護者会、三者懇談、各種たより等を活用し、保護者との連携を図る。</p> <p>② 社会人の方からの講演やボランティア活動を通してより良い生徒の育成を行う。PTA との連携を深め、学校運営の充実を図る。</p> <p>③ 社会体験学習や宇都宮学の学習等において地域の方々や企業との連携を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
<p>6- (1) 安全で快適な学校施設整備の推進</p>	<p>A19 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。</p> <p>【数値指標】 保護者肯定的回答 85% 地域住民肯定的回答 85% 教職員肯定的回答 90%</p>	<p>① 毎月1回、校舎内、運動場等校地の安全点検を計画的、組織的に実施する。</p> <p>② 学校行事の前後や災害時発生時等、必要がある時は、臨時に安全点検を実施する。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
<p>6- (2) 学校のデジタル化推進</p>	<p>A20 コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から、授業(授業準備も含む)を行うための準備ができています。</p> <p>【数値指標】 教職員肯定的回答 90%</p>	<p>① 生徒・教職員がいつでもデジタル機器を利用できるよう、貸出環境を整える。</p> <p>② 具体的な使用例を共有して、効果的な授業実践ができるようにする。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
<p>小・中学校、地域学校共通、本校の特色・課題等</p>	<p>B1 生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。</p> <p>【数値指標】 生徒肯定的回答 90% 教職員肯定的回答 90% 地域住民肯定的回答 95%</p>	<p>① あいさつ運動を継続し運動部とも連携して行う。あいさつの意義を生徒に伝えることを通して、校内で会う友人、先輩後輩、先生、来校者など、相手に応じたあいさつができるようにする。</p> <p>② 授業や給食は部活を通して、所作を含め指導し、あいさつの習慣化を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
	<p>B2 生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。</p> <p>【数値指標】 生徒肯定的回答 90% 教職員肯定的回答 90% 保護者肯定的回答 90%</p>	<p>① 教職員が生徒の模範となるようきまりやマナーを守ることを率先垂範することにより、教育活動全般においてきまりを守る姿勢を育てる。</p> <p>② 交通安全教室等の取組や、生徒同士で指摘し合えるよう指導していくことで、命の重さ、ルール・マナーを守ることの重要性を認識させたうえで行動する態度を育成する。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
	<p>B3 教職員は、生徒が自主的な学習を進めることができるように、学習の進め方を指導している。</p> <p>【数値指標】 生徒肯定的回答 90% 教職員肯定的回答 95%</p>	<p>① 自主学習の仕方や定期テストに向けた具体的な対策を、各教科の授業や学年集会等で説明し、学習の手引きを活用して効果的な学習の仕方を指導する。</p> <p>② 火曜日と木曜日の朝の読書の10分間にタブレット型PCを活用した学習活動を取り入れ、家庭での活用を見据えて生徒が自主的に取り組めるよう、学習の進め方を指導する。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>

小・中学校、地域学校共通、本校の特色・課題等	<p>B4 教職員は、生徒同士が互いに認め合える環境作りをしている。</p> <p>【数値指標】 生徒肯定的回答 90% 保護者肯定的回答 85%</p>	<p>① 行事等の振り返りワークシートの中に他の生徒の取組を認める項目を設ける等の工夫をするとともに、各種便り、HP等で学校の取組を保護者に積極的に発信していく。</p> <p>② 道徳の授業をはじめとする学習活動の中にグループ活動を取り入れるなど互いの意見を交わす場を設定し、タブレットのアプリ等も活用することで他者の考えに触れさせ、その考えを共有し、尊重し合える場を設定する。</p> <p>③ エンカウンターやインクルーシブ教育を各学年の学級活動等に位置付け、学級や集団作りに役立てる。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
	<p>B5 学校や地域は、生徒が自主的に地域の行事に参加し、活動することを支援している。</p> <p>【数値指標】 生徒肯定的回答 90% 地域住民肯定的回答 90%</p>	<p>① 年間を通して地域の行事に自主的に参加する機会を設定し、地域と共に支援することで、地域貢献の意識を高める。</p> <p>② 地域行事への参加の様子を収めた写真などを、学校HPに掲載したりすることで、生徒の達成感を高める。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
	<p>B6 学校や地域は、定期的に登校指導や下校指導を行い、登下校時のマナー向上や生徒の自発的なあいさつの浸透を図り、「地域に愛される旭っ子」の育成に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 生徒肯定的回答 85% 教職員肯定的回答 90% 保護者肯定的回答 85% 地域住民肯定的回答 90%</p>	<p>① 保護者・教職員・生徒・地域が一体となって行うPTSCあいさつ運動を計画的に行い、教職員で連携を取りながら下校指導を行う。</p> <p>② 水曜日の一斉下校の際には、交通担当教員を中心に、巡回下校指導に当たり、登下校時のマナー向上や生徒の自発的なあいさつの浸透を図る。一斉下校の際には、週ごとに学年の教諭が校門近くに立哨し下校時のマナーの啓蒙活動を行う。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
	<p>B7 学校や家庭は、生徒が主体的によりよい生活習慣を確立し、心身ともにたくましく、規則正しい生活習慣を身につけられるよう支援している。</p> <p>【数値目標】 生徒肯定的回答 85% 保護者肯定的回答 85% 教職員肯定的回答 90%</p>	<p>① 学校行事や専門委員会、各教科を通して、よりよい生活習慣を身につけさせるような活動を行う。</p> <p>② 保健だより、食育だより、生徒指導だより、図書館だより、各種だよりを活用し、家庭や生徒への情報発信を行うとともに啓発を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>

### 〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印は該当箇所の下線を付ける。

## 7 学校関係者評価

## 8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印は該当箇所の下線を付ける。